

◆1923 (大正12) 年

## 大阪醸造学会の設立 『醸造學雜誌』を年12回刊行

日本生物工学会の源流は、坪井仙太郎〔東京大学工科大学応用化学科 1889（明治 22）年卒業〕を初代教授とする国立大阪高等工業学校醸造科であった。（日本生物工学会100年史より抜粋）

同窓生相互の親交と研究発表を目的として、1910（明治 43）年に設立された大阪高等工業学校醸造会がのちに改組され、1923（大正 12）年8月1日の役員会で「大阪醸造学会」が正式に発足しました。



◆1931 (昭和6) 年

## 坪井記念館落成（東野田）

鉄筋コンクリート2階建て1階に学会事務局が入居。坪井記念館は『酵本館』と共に戦時中ほとんど被害はなく、学会活動（学会事務所、役員会、総会、講演会場など）に活用されました。



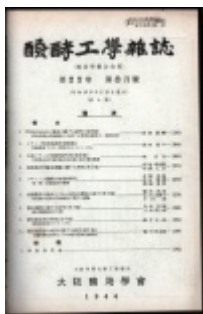
- ◆1935 (昭和10) 年

### 第1回夏季醸造大学開催

夏期醸造大学は2年ごとに計4回開催されましたが、戦争が激しくなったためやむなく中止されました。

- ◆1944 (昭和19) 年

### 会誌名を『醸造工學雑誌』と改称 (Vol.22)



- ◆1957 (昭和32) 年

### 第1回江田賞授与

- ◆1959 (昭和34) 年

### 第1回学会賞授与

- ◆1962 (昭和37) 年

### 創立40周年 日本醸造工学会と改称

- ◆1963 (昭和38) 年

### 第1回斎藤賞授与

- ◆1965 (昭和40) 年

## 東日本支部設置

- ◆1970 (昭和45年) 年

## 第1回醗酵学懇話会 (事務局移転後再開)

大阪大学大学院工学研究科 サントリー記念館内に学会事務局移転

- ◆1971 (昭和46年) 年

## 日本醗酵工学会を社団法人化

- ◆1972 (昭和47) 年

## 第4回国際発酵会議を主催

- ◆1973 (昭和48) 年

『醗酵工學雑誌 (Journal of Fermentation Technology)』を年6回英文で発行 (Vol.51)



- ◆1977 (昭和52) 年

## 『醗酵工學雑誌』を『醗酵工学会誌』と改称 (Vol.55)

『Journal of Fermentation Technology』を和文誌から完全に分離

- ◆1978 (昭和53) 年

**第1回照井賞授与 研究部会設置**

- ◆1982 (昭和57) 年

**創立60周年 西日本支部設置 生物工学賞制定**

- ◆1989 (平成元) 年

**英文誌を月刊誌に改め、名称を『Journal of Fermentation and Bioengineering』と改称 (Vol.67)**

Vol.67より、年2巻、12冊発行



- ◆1992 (平成4) 年

**創立70周年記念 日本生物工学会と改称 技術賞制定**

- ◆1993 (平成5) 年

**『発酵工学会誌』を『生物工学会誌』と改称 (Vol.71)  
関西支部設置 論文賞制定**

- ◆1994 (平成6) 年

## 九州支部・中部支部設置

- ◆1997 (平成9) 年

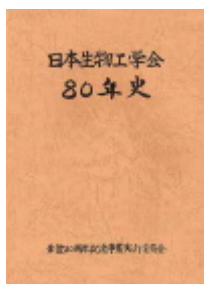
### 北日本支部設置

- ◆2002 (平成14) 年

### 創立80周年記念

英文誌名称を『Journal of Bioscience and Bioengineering』と改称 (Vol.87)

記念出版「日本生物工学会 80年史」発刊



- ◆2003 (平成15) 年

学会の英文名を“The Society for Biotechnology, Japan”に改称

- ◆2004 (平成16) 年

吉田敏臣基金より生物工学アジア若手賞を創設

- ◆2007 (平成19) 年

生物工学功績賞、生物工学功労賞制定

江田賞、斎藤賞、照井賞を生物工学奨励賞（江田賞／斎藤賞／照井賞）とそれぞれ改称

- ◆2011 (平成23) 年

**日本生物工学会を公益社団法人化**

- ◆2012 (平成24) 年

**創立90周年記念**

**生物工学学生優秀賞（飛翔賞）、生物工学アジア若手研究奨励賞  
（DaSilva Award）創設**

- ◆2020 (令和2) 年

**新型コロナウイルス感染拡大により年次大会開催中止（授賞式・受賞講演・シンポジウムを Web 開催）**

- ◆2021 (令和3) 年

**生物工学会誌の主要記事をJ-Stageで公開開始**

- ◆2022 (令和4) 年

**創立100周年記念 生物工学若手賞制定**

**記念出版「日本生物工学会 100年史」 発刊**

